

「2015年もっとも出会えたで賞!!」

2015年は24回のイルカ調査を実施し、提供して頂いた写真や動画データなども含めて個体識別を行った結果、識別個体数は80個体となりました。今回はその中から、2015年に多く確認できた個体TOP3をご紹介します。



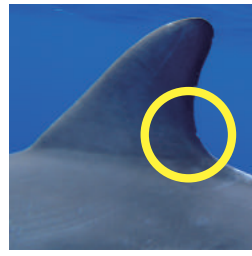
1 **9回**

#297 (♂)




ニックネーム：パイπ

2015年、最も多く発見した個体は#297!!イルカ調査隊では2014年から父島周辺のみで確認している個体で、右胸ビレの傷跡と、背ビレの欠けが識別のポイントです。




2 **8回**

#229 (♂)



ニックネーム：ひょうたん



2008年から確認されている個体で、背ビレの後縁と左胸ビレに認められる欠けと、右体側にある傷跡が識別のポイントです。

3 **7回**

#87 (♂)

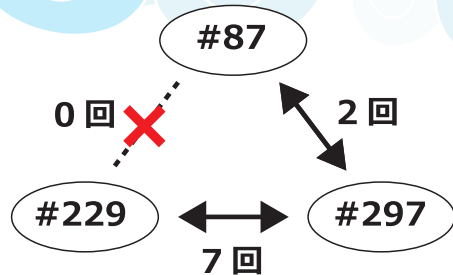


ニックネーム：ペコ

今回紹介した個体のうち、唯一10年以上確認され続けている個体で、イルカ調査隊として初確認したのは2004年。背ビレが大きく欠損しているのが識別のポイントです(イルカ通信 No.60 参照)。今年は父島列島と嫁島で確認。

これら3個体はいずれもワカオス(既に離乳して、繁殖に参加する前の若い個体)でした。今年の調査データから、どれくらいの頻度で一緒にいたか(同伴)を解析してみると、#229と#297の2頭は7回、#297と#87では2回、#87と#229では0回という結果になりました。

御蔵島では、オスは同伴相手に偏りがあり、メスは色々な相手と同伴する傾向があるとの報告があります。今回は3個体のみでの解析でしたが、全ての個体を含めると、御蔵島と同様な結果になるのでしょうか?今後、少しずつ解析を進めていきたいと思います。



2015年に観察したワカオス3頭の同伴回数について